

2-4 地域ストック活用PJ

■ 取組みの目標

- ・市内の空き家、空き店舗など貴重な地域ストックを有効活用し、地域における住環境の整備やしごとづくりにつなげます。
- ・地域で活用されていない様々な資産等を有効活用する仕組みを構築し、地域課題の解決や地域経済の活性化を図ります。
- ・ICTの活用等により、地域の様々な資産等を容易に利用できる新たなサービスやライフスタイルの提案、支援を行います。

■ 事業主体

県、市、商工団体、地元企業、地域づくり団体、市民等

■ 構成する施策

① 空き家、空き店舗等の利活用の更なる促進

既存住宅や活用可能な空き家、空き店舗について、空き家バンクの機能を最大限に活用するなど、利用希望者のライフステージやニーズにあったマッチングを行い、地域ストックの流通や更なる活用を促進します。

② シェアリングエコノミーの推進

行政はもとより、市民や企業、各種団体などが所有する様々な資産（空間、モノ、カネ等）や能力（スキル、知識等）について、シェアリングやサブスクリプション等の新たなサービスにより、有効に活用できる環境を構築することで、地域課題の解決や地域経済の活性化を図ります。

③ 遊休資産等の利活用による新たなライフスタイルの推進

「所有」から「利用」へと若い世代の意識が変化している中で、ICTの活用等により地域の様々な遊休資産等を容易に利用できる環境を構築するとともに、それらを利用した新たなサービスやライフスタイルなどを提案、提供することで、いわきで生活する魅力や質の向上を図り、若い世代の誘致・定着を促進します。

■ SDGs



■ スケジュール

項 目	R3	R4	R5	R6	R7
空き家、空き店舗等の利活用の更なる促進	地域ストックの流通・活用促進				
シェアリングエコノミーの推進	活用検討		活用推進		
遊休資産等の利活用による新たなライフスタイルの推進	モデル事業の検討・実施			実装	

K P I	現況値		目標値	
空き家バンクを經由した成約実績（累計）	15 物件 (2020 年 12 月末)		40 物件	
既存住宅の流通シェア向上（持ち家取得時の中古住宅購入割合）	8.7% (2018 年)		10.0%	
利活用した市有施設数（累計）	5 施設 (2020 年 12 月末)		10 施設	
シェアリングサービス導入件数（累計）（再掲）	2 件 (2020 年度)		5 件	



国民宿舎の利活用
(交流スペースなこそ(なっくる))



空き店舗を地域コミュニティ拠点へ改修
(enva(エンバ))

